

サテライト 蜻蛉通所リハだより

8月号

訪問介護との協同

国が推進する
自立支援介護
とは？

リハビリ職員が協力します



訪問介護は自宅での自立支援に重要な役割を担っています。生活の場で直接的な関わりに加え、家族とご本人の関係・家族の想いなど寄り添う場面が多い中での自立支援はとても難しい介入です。また自宅生活の中では日々変化する体調、ちょっとした環境の変化、その中で「出来るところは見守る」「一連の流れの中でのリスク管理」「意欲が保てる声掛け」などとても高い専門性が求められています。

訪問介護から細かい変化・問題点、ケアマネジャーから目標・家族の想いなどを教えていただき、リハビリスタッフから自立支援への意識づけをさせていただきます。また訪問介護へ医療的リスクを伝達し介護とリハビリテーション両方の側面から、重度化予防・自立支援を行い、その人らしい生活・在宅生活の継続に結びつく支援を通所リハから発信していきたいと思っています。

自宅での課題

パーキンソン病の利用者。バランス機能が低下しており、その影響で毎回同じ動作が行いずらく、浴室内の移動や、浴槽を跨いだりする動作が不安定であった。妻は入浴の介助を提案するが、本人は頑固な性格でもあり、妻に介助をされるのが嫌で、一人で何とか入浴されている状況であった。

ケアマネジャーより

本人の気持ちとして、今後も在宅で生活していきたいという気持ちが強く、安全と本人動作に合わせた専門的介助として、訪問介護による入浴介助の提案を行いサービスの利用に至った。



ヘルパーとの同行訪問

訪問介護利用前に、ヘルパーと自宅に訪問をさせていただきました。目標は、動作手順の統一とし、実際に一連の入浴動作の手順を確認し合いました。本人に対してどのような介助が必要なのかを一緒に考えることで、安全に、また自分で出来ることを今後も続けていくための支援にしていたかどうか考えました。

伝達内容と結果

入浴動作の手順を簡単にまとめたデモ用紙を作成し、動作の統一ができるように伝達を行いました。現在も訪問介護を利用しながら、自宅での入浴を継続しておられ在宅で生活を継続されています。また妻も不安に思うことが一つ減ったことで、落ち着ける時間が増えているようです。

紹介：調理クラブ VOL.7

対象者
募集中!!

自宅で料理をすることを目標にもっている利用者に行っています。参加者には個別の目標や課題に合わせて役割分担を設定し、おかず、サラダ、味噌汁など調理しています。完成した昼食を囲い、皆で感想を言いながら楽しい食事時間となっています



味付け

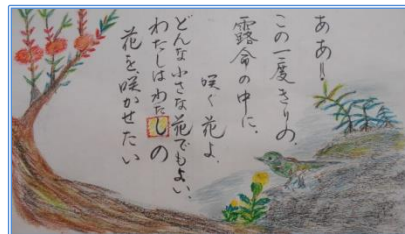
作り方を思い出せない

調味料を入れ過ぎないよう注意し、他の参加者に自ら味見を依頼できる

職員が意図的に質問し考えながら練習

作業療法士が実施しています

利用者作品紹介 ～書道・絵～



利用者Kさんは学生の頃から得意であった書道を、クラブ活動をきっかけに再開し、書道展に出展すると優秀な成績を収められました。自身が納得できるところにまでに達したと満足気に話されています。

今年は自分で文章と絵を考えて、7作品作ろうと計画中です!!

ご連絡おまちしております!!



介護老人保健施設鴻池荘
受付時間 9:00～17:00

TEL 0745(64)2180
FAX 0745(62)1092
担当者：相談員